



古小だより

令和5年11月24日(金)
第9号
古平町立古平小学校

なかよし集会 ～縦割り班活動・異学年交流～

校長 丸岡 哲也

今年の積雪・根雪になるのは遅い？雪は少ない？などと、一度はまとまった降雪以降の天気が気になります。降っては溶け、溶けては降るを繰り返し、確実に厳冬期を迎えることでしょう。生活上は少雪・暖冬が歓迎されそうですが、一方では、除雪やスキー場の営業などをなりわいとする人、ウィンタースポーツの愛好家などにとっては、積もってほしいと心待ちにしているかもしれません。近隣町村・学校からは、インフルエンザ罹患と学級・学校閉鎖等の知らせもあり、今一度、手洗いやうがいなど、風邪やインフルエンザなどの予防に対する御配慮をお願いいたします。

8日(水)の中休みから3校時にかけて、『なかよし集会』が行われました。7月に続いて2回目の実施でした。なかよし集会は、全校児童を8つの班に分け、1年生から6年生まで各学年の子どもたちが集まる縦割り班ごとに活動します。学年が異なる集団で活動することを通して、お互いを尊重し合う関係をつくっていくこと、なかよし集会という集会活動やその準備の活動を通して、子どもたちが協力してよりよい学校を築いていこうとする主体的な態度を育てることをねらいにしています。実施の手順や役割分担は次のようになっています。

- ① 5・6年生は各班のイベントやゲームを企画し、指定された教室で待機し、運営する。
- ② 1～4年生は各教室をまわり、イベントをクリアしたらスタンプカードに押印してもらう。
- ③ 指定された教室を4分ごとのローテーションでまわる。
- ④ 閉会式で各班の班長(4年生)がメンバーの頑張りなどを発表する。
- ⑤ 児童会三役は、時間を計り、放送で移動の案内をしたり、集会全体を運営したりする。

そして、各班のイベントやゲームは次のとおりです。

- 1班…ピンポン球当て
- 2班…絵かきしりとり
- 3班…ジェンカ積み
- 4班…もぐらたたき
- 5班…曲当て
- 6班…「わたしはだれか」
- 7班…正式名称クイズ
- 8班…ボウリング

5、6年生は、イベントやゲームを考え、楽しんでもらう立場です。各班の教室をまわることはできません。1年生から4年生のみんなができそうで、簡単すぎないものを考えます。その加減が絶妙です。4年生は、1年生から3年生を誘導し、順番や出番を調整します。お世話役です。そして、各班の活動を把握し、閉会式でその様子を発表します。1年生から3年生は、参加し楽しむのが仕事です。低学年が楽しんでくれることが、企画し運営する高学年の楽しみであり、やりがいや達成感につながります。それぞれの学年のなかよし集会の参画や関わり方は違いますが、低学年での楽しむこと、次にお世話役をすることの経験があって、高学年の活動につながります。

なかよし集会に見られる縦割り班活動や異学年交流は、掃除や集団下校などでも行われます。学年や年齢が異なる集団が交流することによって、上学年の児童はリーダーとしての意識や下学年への思いやりの気持ちが高まり、リーダーシップを発揮することができたり、自己有用感をもつことができたりするようになります。そして、下学年の児童は上学年を補佐したり、憧れの気持ちをもったりすることにより、成長や学習への意識が高まることにつながります。この考え方は、小学校内にとどまらず、小学校入学前の段階である幼稚園・保育園・こども園や、小学校卒業後の中学校との連携(幼小連携、小中連携)につなげていきたいと考えています。

【教育目標】

『勇気ある子ども』(全体目標)

- 「自分で考える子」(知)
- 「思いやりのある子」(徳)
- 「たくましい子」(体)

◆ 今年度の重点

テーマ **ほんわか古小**

育てる子どもの姿 **思いをカタチに表現できる子**

◇ 12月生活目標 **相手の気持ちを考えて話そう。**

みんなが楽しく 過ごせるように

10月25日、「どさんこ子ども地区会議inしりべし」が行われました。

これは、後志管内の小・中・高等学校の児童会、生徒会の代表がオンラインでつながり、「いじめのない学校にするためには」「みんなが楽しく学校生活を送るためにはどうすればよいか」について話し合い、取組を考える場です。

古平小学校を代用して、児童会長の○○○○さん、副会長の○○○○さんが参加し、他校の人たちと意見を交わしました。



その後、児童会が、「なかよし五七五」の作成を全校に呼びかけ、みんなが楽しく過ごすことのできる学校づくりへの意識を高める取組を進めています。

本に親しむ

毎年11月を秋の「読書月間」として、様々な活動に取り組んでいます。本に親しむ機会を多く持つことで、読書に対する関心が高まったり、読書が習慣化されることを期待しています。

朝読書 期間中、朝学習の時間に、読書に取り組んでいます。5,6年生は「運命読書」(司書が選んだ「高学年に読んでほしい本」をくじ引きで選んで読む活動)を行っています。

本の紹介カードの作成 読書カードに記入したことをもとに本の紹介カードを書き、「お勧めする本」「感想」等を交流しています。

司書による読み聞かせ 町図書館の司書である○○さんが、各学年で発達段階に応じた「読んでもらいたい本」を読み聞かせてくれています。

家読 家庭で読書を行います。この期間は、10分以上家で読書を行い、家読カードを使って、保護者の方に一言コメントいただいています。

図書委員会の活動 新着図書等を紹介する活動を行っています。

気持ちのよい あいさつ



朝、児童会三役が児童玄関に立ち、「あいさつのにじ」運動を行っています。

これは、児童玄関に入ってきたとき、元気な挨拶ができたなら色画用紙をもらい、みんなで「あいさつのにじ」を完成させることを目指します。登校してきた子どもたちは、元気な挨拶を聞かせてくれています。

学校では、10月後半から、人よりも早く挨拶をすることを旨とする「挨拶早撃ち」を行うなど、挨拶への意識向上を図っています。

また、11月の全校朝会では、校長より、挨拶の意義などについて話をしました。

挨拶が、「意識しなくてもできる」ように今後も指導を行っていきます。

『生活安全標語』金賞作品・入賞者の紹介

交通安全や生活リズム、情報モラルをテーマにした標語づくりに、全児童が取り組みました。これは、古平町校外生活指導連絡協議会主催の事業で、審査の結果は、次のとおりです。

各部門の金賞作品と入賞者を紹介します。

金賞作品 【低学年の部】

『車も人も 左右かくにん 大じだね』

- ★金賞 ○ ○ ○ ○ さん (2年生)
- ◎銀賞 ○ ○ ○ ○ さん (2年生)
- 銅賞 ○ ○ ○ ○ さん (1年生)

金賞作品 【中学年の部】

『言葉はね 人の心を 左右する』

- ★金賞 ○ ○ ○ ○ さん (4年生)
- ◎銀賞 ○ ○ ○ ○ さん (3年生)
- 銅賞 ○ ○ ○ ○ さん (4年生)

金賞作品 【高学年の部】

『発言は 考えてから 口にする』

- ★金賞 ○ ○ ○ ○ さん (6年生)
- ◎銀賞 ○ ○ ○ ○ さん (6年生)
- 銅賞 ○ ○ ○ ○ さん (5年生)